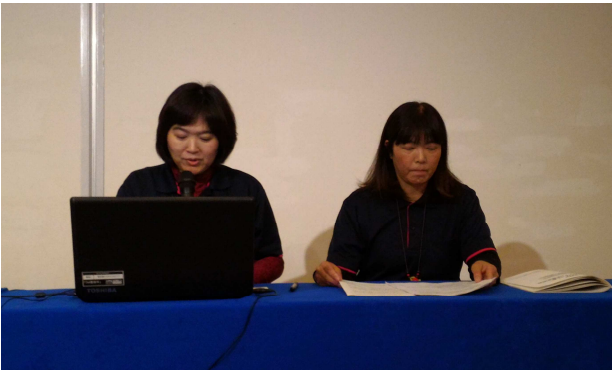


活動報告 わたしの住みたい街づくり

住民主体の街づくり

曾於市「皆来館」の取り組み

曾於市 池田 真由美 氏、冨田 ゆかり 氏



曾於市「皆来館」の取り組みについて説明いたします。皆来館は、多世代交流・多機能型拠点施設として、平成 28 年 3 月に開所しました。施設は、旧駐在所を改修し、運営は曾於市社会福祉協議会が曾於市から委託を受けましたが、住民主体の活動拠点であることから、実行委員会を設置し、会議や研修を重ねてのオープンになりました。県道や国道そばの地域ではありますが、ひとり暮らしの高齢者が多いことや地域に商店がないなどの課題があるとともに、新興住宅もあり、子供も多いことから多世代交流などができるなどを考慮し、この地域が選定されました。

平成 28 年 3 月のオープンから平成 29 年 12 月までの活動実績について説明いたします。

実行委員会は住民、行政、社協で組織され、実行委員 24 名と事務局 4 名の 28 名です。主に、事業活動の話し合いや経過報告、視察研修などを行っています。これまで 9 回の会議を行っています。

企画会議は、実行委員の柳迫住民代表とスタッフなど住民中心のメンバー 22 名で、主に事業企画

の話し合いを行っています。これまで 4 回の会議を行っています。

スタッフ会議は毎月 1 回行い、前の月の振り返りと次の月の計画などの話し合いを行っています。

「皆来館」来館者数は、延べ 4,872 名で月平均 221 名となっています。

次に、後から出てきますが、支え合いマップづくりについてご説明します。

皆さんは、支え合いマップをご存じでしょうか。

住民のふれあいや助け合いの実態を、地元の方から聞き取り、住宅地図に記入していくことで、地域にどんな福祉課題があり、住民はどう対処しているか、見えてきた課題をもとに、これからどんなことに、どんなふうに取り組んだらいいのかを考えていく地域づくりの一つの手法です。

そして、柳迫地域のマップづくりから見えてきた地域課題は…

- ① 高齢者夫婦世帯・高齢者ひとり暮らしが多い。
- ② 自治会未加入世帯が多い。
- ③ 隣接する自治会が混在したり、自治会がないところがあるので見守りが心配
- ④ 引きこもりや認知症の方がいる。
- ⑤ 若い世帯が多いが子育ての悩みを抱えている方がいる。
- ⑥ サロンが少ないなど。いろいろな課題が見えてきました。

次のページは、支え合いマップづくりの様子です。

平成 27 年度から平成 28 年度にかけ、16 自治会全てで支え合いマップづくりを行いました。

このマップづくりから、先ほど出た地域課題の対応策として、身近な地域で、自分たちにできることを住民みずから気づき、見守りの体制づくりや声かけなど、積極的に行うようになりました。また、地域の民生委員や在宅福祉アドバイザーが連携し、住民とのつながりも密になってきていると思います。まだまだ十分ではないことも多くありますが、皆来館での活動へ結びついたものもあります。

次のページは、課題から見えてきた取り組みについてです。

事業 1 からその他事業までこの後、説明させていただきます。

事業 1 は、認知症サポーター養成講座です。

地域には、認知症の方や認知症の方を介護されている家族がいることが、支え合いマップづくりを行う中でわかってきました。地域で支えることを目的に、平成 28 年度は 16 自治会全てで開催し、これまで約 240 名の方が受講されています。また、平成 29 年度は、柳迫小学校の家庭教育学級で開催し、今後は小学生向けの養成講座も行う予定です。

受講された住民からは、「認知症について理解することで、当事者や家族の方を地域で見守る必要があると感じた。」など感想もいただいています。

そして、皆来館でも、昨年 9 月から奇数月に 1 回、おれんじカフェを開催することになりました。このカフェは、認知症の方を介護されているご家族や当事者、過去に介護経験のある方、その他誰でも参加していただける場となっています。

事業 2 は、手づくり教室です。2 カ月に 1 回開催しています。

地域の方が指導者になり、いろいろな小物をつくっています。ペットボトルの傘入れ、ネクタイ

ポーチ、ハンガーモップ、正月飾り、ひな飾りなど、たくさんのものでつくってきました。その中で、指導者は生きがいを感じ、また、覚えたものを地域サロン活動へつなげている方もいらっしゃいます。要請をうけて、サロンやミニデイ等でのつくり方の指導などを行い、大変喜んでもらっています。

事業 3 は、ふれ愛お食事会です。毎月 1 回開催しています。

支え合いマップづくりから、高齢者世帯やひとり暮らし世帯、男性のひとり暮らし世帯が多いことから、まずは月 1 回、交流を兼ねた食事会を試みることから始めました。参加者は 20 名～30 名ほどです。一人ではなく語り合いながら楽しく食事をされ、中には同じ地域でも数年ぶりにゆっくり話ができたと時間がたつのを忘れて話されている方もいました。また、食事をしながら、ギターの弾き語りやウクレレの演奏など開催するときもあり、とても好評です。

食材も地域の方が差し入れてくださる野菜を使わせていただき、私たちも楽しくつくらせていただいています。「おいしかったよ」との言葉が、私たちの頑張れる源です。

事業 4 は、児童クラブふれ愛事業です。毎月 2 回開催しています。地域の方が、折り紙や紙芝居、竹細工などの指導を行っています。室内遊びやビデオ鑑賞のほか最近手づくりのデッキも完成しましたので、外での活動も今後行っていく予定です。

左の写真は、お正月に福笑いをしているところです。スタッフ手づくりのもので最初は「いやだー」と言っていた子供たちも「次は私 次は僕だよ」と楽しんでいました。

右の写真は、隣の宮崎県都城市の紙芝居グループの方に本格的な道具を使い見せていただいたものです。子供たちは生き生きとした目で、一生懸命見ていました。

事業 5 は、ふれ愛子育てサロンの様子です。毎

月1回開催しています。おっばい相談、子育て相談、体重測定、ベビーマッサージ、小物づくり、そして、ママのための簡単ヨガなど、地域の助産師さんや児童クラブの先生が対応しています。今では、柳迫以外の地域の方も多く参加されています。ママが仕事に復帰されるときには、サロンの写真をプレゼントし、子供の成長がよくわかると、喜んでいただいています。

事業6は、いきいきサロン活動です。もともと柳迫地域には二つのサロンがありましたが、平成28年度に新規で五つのサロンができました。そのうち1カ所は、皆来館を利用されています。また、左の写真は、個人宅の庭先で行われているサロンの様子です。この日は、正月飾りの寄せ植えをされた後、皆さんでお茶をされていました。右の写真は、お墓でサロンをしている様子です。サロンを立ち上げる前は、地域の方が毎日お墓参りをされ、そこで立ち話をされていることがわかり、ベンチを設置し青空サロンを計画されたものです。お墓の「ぼち」と「ぼちぼちやろう！」から、今では、ぼちぼちサロンと名前をつけて活動をされています。

このように、公民館や施設はなくても、いつでもどこでもできるサロンの紹介でした。

1周年記念大会の開催の様子です。平成29年4月8日に柳迫小学校体育館にて記念大会を盛大に開催できました。

1年間の活動紹介ビデオ上映や「困ったときはお互いさま 助けられたり 助けたり」と題して、NPO法人隣の会 斉藤鈴子氏に講演していただきました。

また、午後からは、多世代交流グラウンドゴルフ大会を行い、210名の参加をいただきました。

その他の活動を紹介します。視察研修を行いました。鹿屋市の「NPO法人隣の会」と南大隅町の多世代交流・多機能型支援拠点「いっぺんだいでんきやん家(か)」へ行きました。

柳迫地域の住民、行政、社協、14名で参加し、

今後の活動に大変参考になる研修でした。

懐かしい昭和の曲を口ずさみながらのお食事会でのギターの弾き語り、デッキが完成し初めての活動となった児童クラブでの手づくりシャボン玉遊び、お食事会に連れてこられた赤ちゃんとの触れ合いです。

右下の写真は、柳迫地域の方で、現在施設に入所されています。この日は、皆来館に来られ、小物づくりをされている様子です。施設外で地域の方と交流でき、とても喜んでいただきました。

以上、皆来館の取り組みについて紹介させていただきましたが、私たちは、これからも地域の交流や笑顔やほっとできる拠点となれるようみんなに継続していくことが大切だと考えています。

そして、継続していくためには、いろいろなアイデアを出し合い、また、地域課題を少しでもなくせるような活動につなげていきたいと思っています。これからも、行政、社会福祉協議会、地域住民と連携をとりながら、住民主体の街づくりに取り組んでいきたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。